

市民に身近な市役所づくり 新庁舎整備の現在地

令和7月11日 松本市役所新庁舎建設基本計画 改定版を策定

議会の同意のもと 新庁舎建設事業をリ・スタート

体制	整備フェーズへ	令和8年4月	総務部に「新庁舎整備課」を設置
ソフト	サービス具体化	令和8年5月	新たなワンストップサービスの方向性を取りまとめ
ハード	発注方式決定	令和8年9月	基本設計一体型の設計施工一括発注方式とすることを決定

「市民に身近な市役所づくり」

自分に適した“方法”で

自分に適した“場所”で

便利に・簡単に

情報端末等からの
手続・相談

自宅や職場から

離れている場所でも
ワンストップで完結

対面サポート
オンライン窓口

身近な場所で

- ▶ 人口重心／南松本 (仮称)保健所庁舎
- ▶ 交通結節点 (仮称)松本駅前センター
- ▶ 最も身近な行政拠点 地域づくりセンター

丁寧な対応・相談

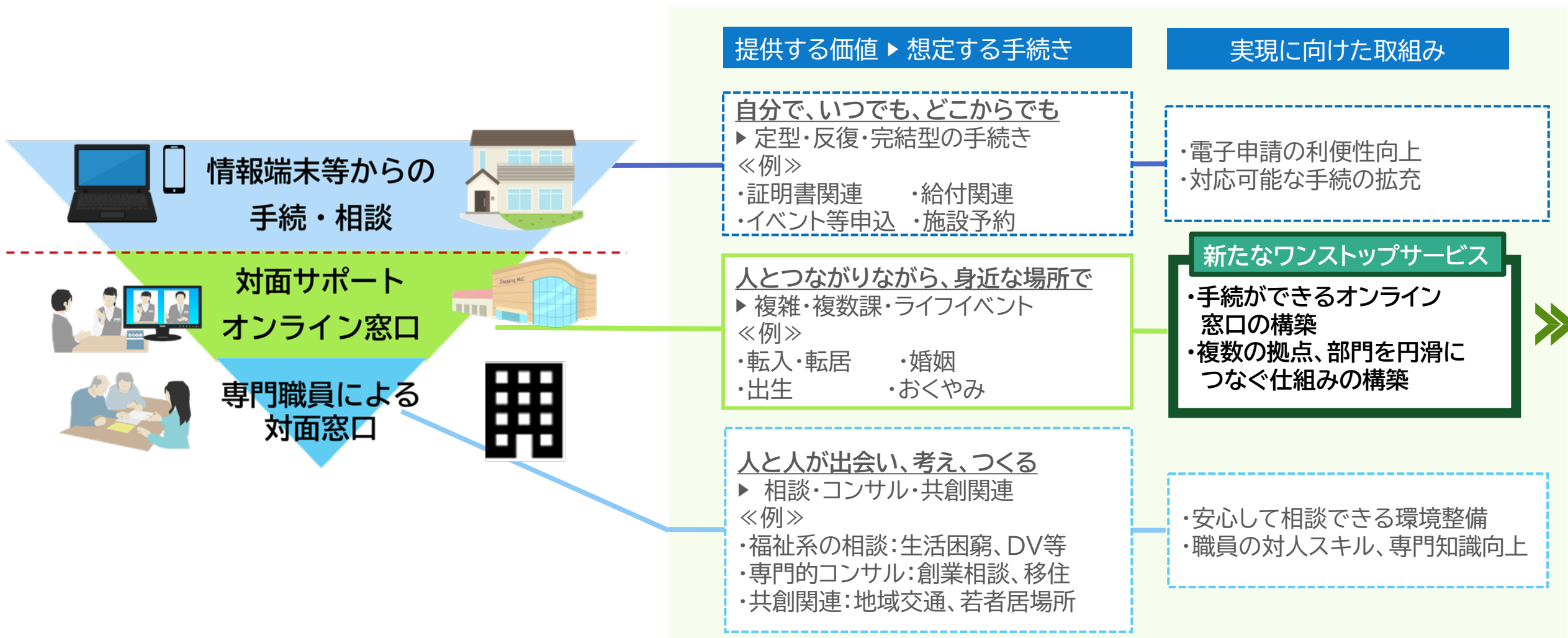
専門職員による
対面窓口

本庁舎で

市民に身近な市役所づくり

1 新たなワンストップサービス

- ▶ 市内のどこに住んでいても「必要な時に、必要なサービス」にアクセス可能
- ▶ 転入等の複雑な手続も「新たなワンストップサービス」により身近な場所で完結



市民に身近な市役所づくり

1 新たなワンストップサービス

- ▶ 来庁者は窓口を設置したモニターの担当者に**基本情報を伝達** → 原則、**申請書なし**
- ▶ 手続きに合わせて**モニターに映る職員が交代** → **窓口を移ることなくワンストップ**手続きが可能

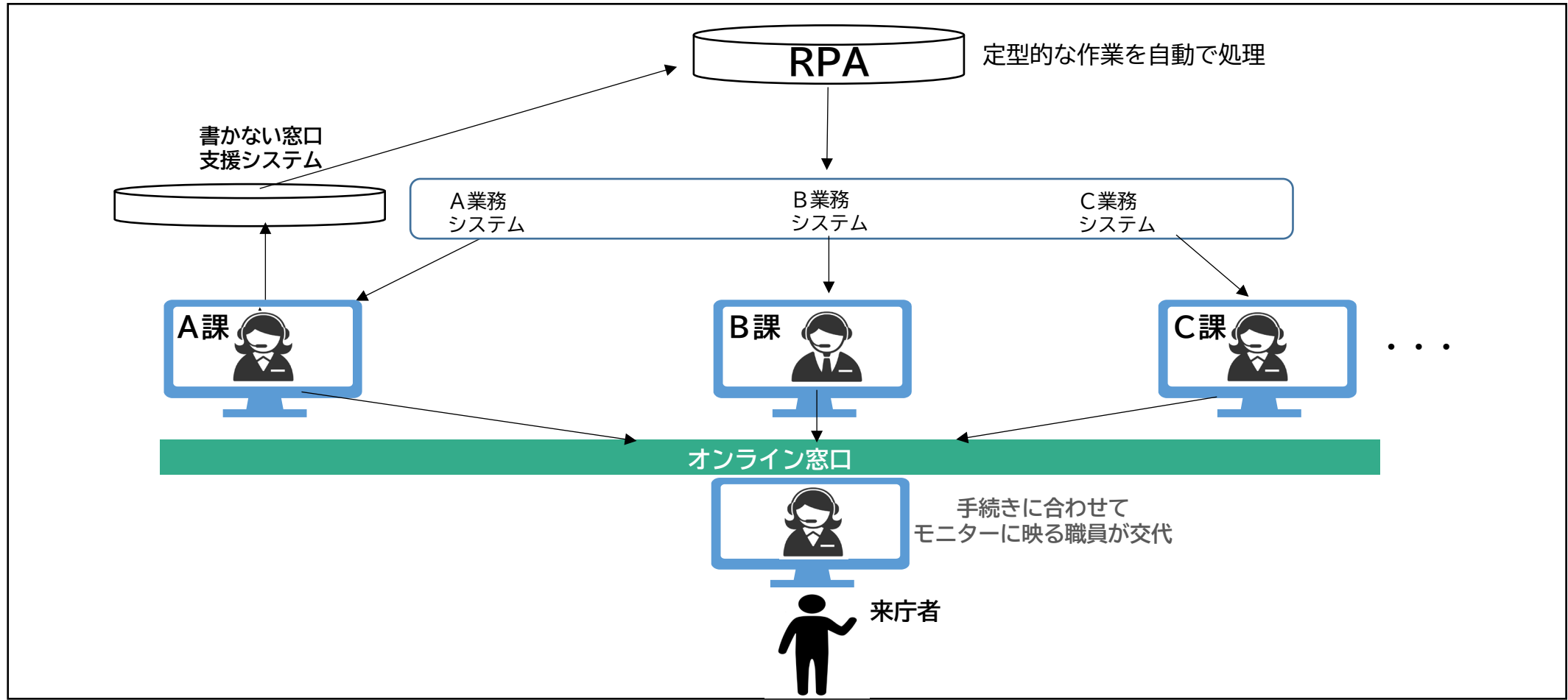
オンライン

×

書かない窓口

×

職員交代型



2 新たな庁舎のカタチ

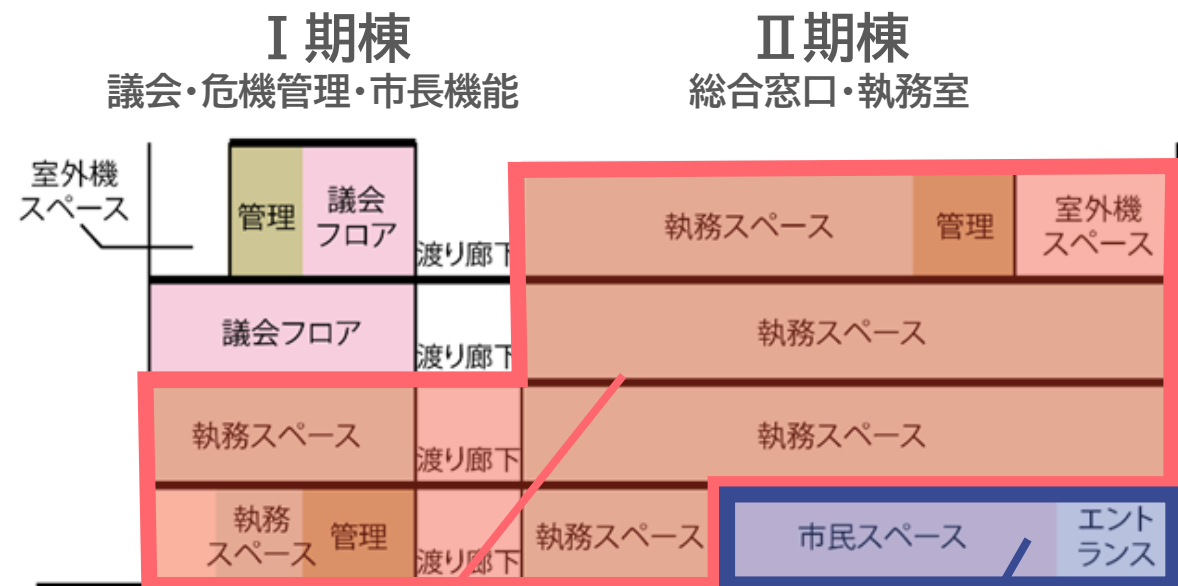
新本庁舎

- ・規模をスリム化して現在の**東庁舎側敷地**に建設
- ・延床面積 **前計画 約23,000㎡** >>> **改定版 約15,000㎡**

発注準備中



階層構成(イメージ)



バックヤード

職員の執務スペース
基本的に市民は立ち入らない

フロントヤード

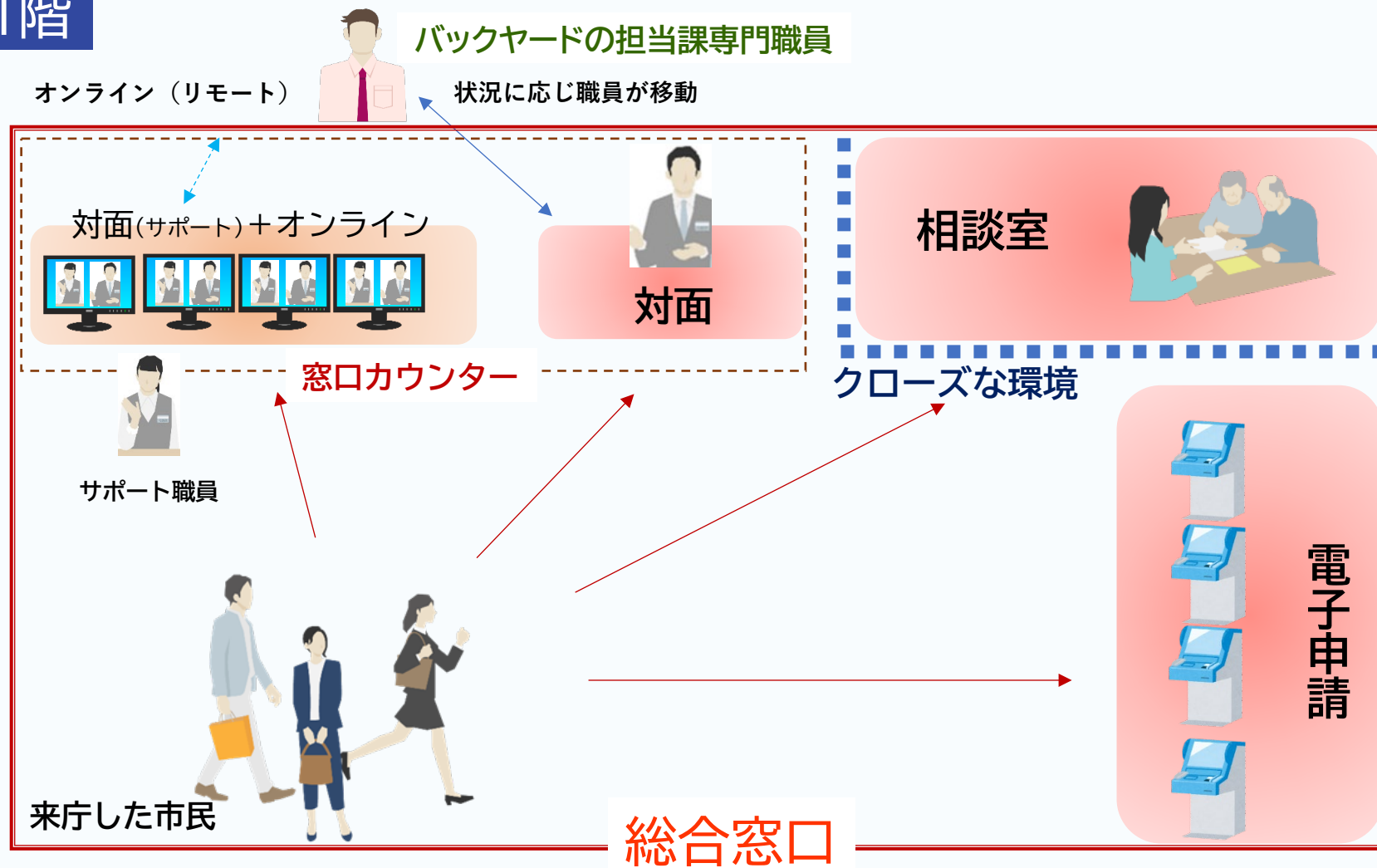
市民が手続きや相談のために
訪れるスペース

市民に身近な市役所づくり

2 新たな庁舎のカタチ

- ▶ 市民が手続や相談に対応できる**総合窓口**をフロントヤードとしてⅡ期棟1階に集約
- ▶ 職員が働く**バックヤード**は2階以上に集約

新本庁舎Ⅱ期棟1階



2 新たな庁舎のカタチ

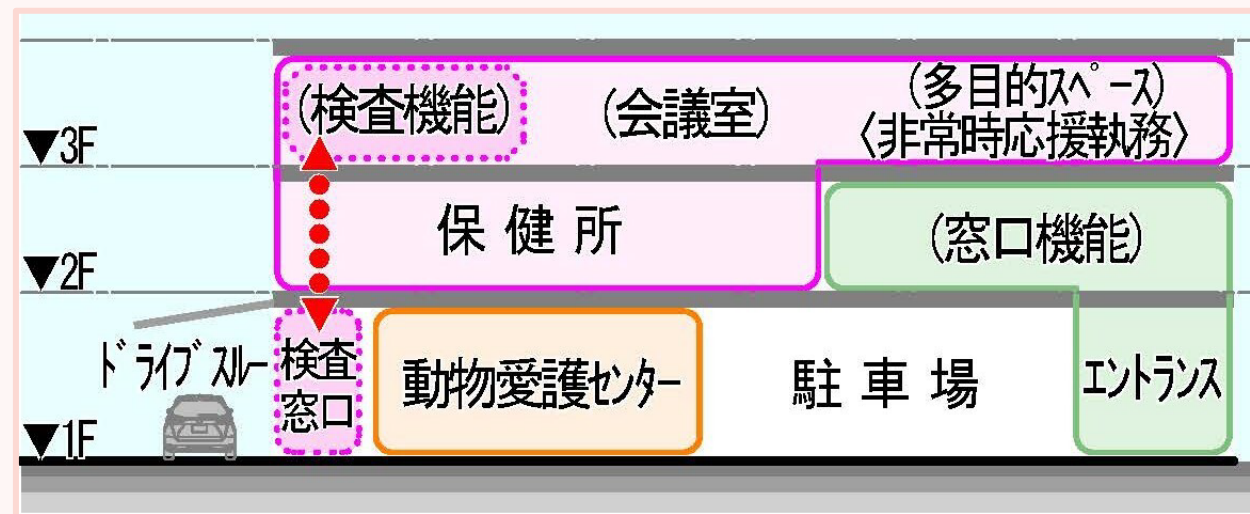
(仮称)
松本市役所
保健所庁舎

- ・人口重心に近い南松本に保健所を核とした行政機能を整備
- ・周辺の既存福祉施設と連携し健康を支える総合拠点に

実施設計中



階層構成



(仮称)
松本駅前
センター

- ・交通結節点である松本駅前に、申請・手続の窓口を配置
- ・民間施設の賃貸借を念頭に検討を推進

検討中

市民に身近な市役所づくり

3 新たな執務環境の創出

- ▶ 新庁舎建設後も、**組織も職員もシンカを続ける**ために**新たな執務環境を創出**
- ▶ 執務空間のみならず、**働き方・組織文化も変革**して**部局間連携や職員の成長を促進**

【新たな執務環境のイメージ】

執務空間

- ・ABW(執務内容に合わせて場所を選択)
- ・グループアドレス
- ・集中スペース
- ・打合せスペース など

×

働き方・組織文化

- ・柔軟な働き方を実現する制度
- ・自律的に改善する組織文化
- ・部局を越え連携・協力する風土

*両者とも現庁舎からできることは順次実現



市民に身近な市役所づくり 事業スケジュール

市長記者会見資料

8. 9.30

新庁舎整備課

基本計画の改定

業者選定

設計

工事

R7

基本計画改定版策定

R8

R9

新庁舎プロポーザル実施

R10

(仮称)
保健所庁舎供用開始

R11

R12

R13

新庁舎1期棟供用開始

...

R17

新庁舎2期棟供用開始

R8

11月

新庁舎
要求水準書案公表

3月

文書削減計画策定
(仮称)
保健所庁舎実施設計完了

R9

春

新庁舎プロポーザル公告

夏

「書かない窓口」実装

秋

新庁舎プロポーザル実施

(仮称)
保健所庁舎着工

冬

新庁舎設計施工契約締結

市民に身近な市役所づくり 本庁舎側敷地の利活用

市長記者会見資料

8. 9.30

新庁舎整備課

現本庁舎
敷地

松本城を核とした公共空間の整備と併せて利活用

検討中



NEXT MATSUMOTO GATE

現本庁舎敷地の将来の利活用を見据えて**多角的な視点で学び、意見交換を実施**

R8	R9
松本の地域資源を題材に多角的な視点でまちに対する関心を高める	本庁舎側敷地及びその周辺の利活用イメージを膨らませる

